

平成27年度

事業報告書

社会福祉法人 崇徳会

高齢者総合ケアセンター

マザーアース

目 次

1. 施設の概要	1
2. 沿革	1~4
3. ケア報告	5~7
4. 苦情報告	8
5. 安全衛生委員会	9
6. 特別養護老人ホーム	
(1)入所の状況	10
(2)月別入退所者数	11
(3)行事実施状況	12~13
(4)面会状況	14
(5)外出状況	14
7. 在宅支援について	
(1)短期入所生活介護現況	15
(2)短期入所 報告	16~17
(3)年間短期入所生活介護利用状況	18
(4)年間通所介護利用状況	18
(5)年間通所介護利用状況	19
(6)通所介護報告	20
(7)通所介護年間行事	21
8. 施設内事故報告	22~23
(1)事故・ヒヤリハット件数報告	24
(2)事故発生場所 時間	24
(3)ヒヤリハット発生場所 時間	24
9. ボランティアの受け入れ状況	25
10. 実習の受け入れ	26
11. 学習支援	26
12. 職員研修・施設内研修	27~30
13. 健康管理	
(1)健康管理処置状況	31
(2)通院・入院状況	32
(3)常食給与栄養摂取量	33
(4)行事食実施記録	34
(5)平成27年度反省点	35
14. 居宅介護支援事業所	36
15. 高齢者あんしん相談センター	37~38
16. あんしんセーフティネット事業	39

1. 施設の概要

- (1) 名 称 社会福祉法人 崇徳会
高齢者総合ケアセンター マザーアース
- (2) 所 在 地 埼玉県ふじみ野市大井621-1
- (3) 開 設 平成5年8月1日
- (4) 事業所(定員) 介護老人福祉施設(56名) 短期入所生活介護(14名)
通所介護(25名)
居宅介護支援事業所 高齢者あんしん相談センター
- (5) 敷地面積 4,430.53m²
- (7) 職 員 数 施設長 1名 副施設長 2名 事務員 3名
相談員 3名 看護師 4名 ケアワーカー 43名
主介護支援専門員 2名 介護支援専門員 2名 社会福祉士 1名
保健師 1名 管理栄養士 1名 調理員 11名
施設管理 2名 委託医(非常勤) 2名
- (8) 業務内容 心身に障害があるなど介護保険に該当する65歳以上的第一号被保険者及び40歳以上65歳未満の第二号被保険者(心身に障害があり、その原因となる疾患が特定疾患と認定された者)で、要介護状態と認定された者に対する必要な介護サービスを行う。

2. 沿革

- 平成 5年 7月 社会福祉法人 崇徳会 認可
理事長に 野溝 伊之助 就任
- 7月 特別養護老人ホーム マザーアース 認可
施設長に 田貝 邦子 就任
- 8月 マザーアース開設
- 9月 タイ政府高官視察来訪
- 10月 デイサービス開設より事業開始
- 平成 6年 2月 ネパール国立病院総婦長視察研修来訪
- 4月 老人短期保護事業開始
- 7月 社会福祉協議会特別会員入会
- 12月 大相撲双山闘争
- 平成 7年 1月 在宅介護者ふれあい教室開催
- 6月 不在者投票所認可
- 7月 不在者投票実施
- 8月 夏祭り開催(近隣住民招待)・家族会の発足
- 10月 国勢調査施行(ホーム内)
- 12月 中国安徽省人民政府市長代表視察団来訪
- 12月 県生活福祉部長、歳末特別慰問の為来訪
- 平成 8年 8月 三周年記念夏祭り開催(近隣住民・ボランティア等招待)
- 10月 県知事不在者投票実施

平成 9年	3月	在宅介護支援センター新築工事竣工
	4月	在宅介護支援センター開所式を行い開所
	9月	施設長 田貝 邦子 退任
	10月	施設長 野溝 守 就任
	12月	サウンド・オブ・マザー県民文化祭出場
平成10年	4月	ホリデーサービス開始
	8月	開所5周年記念行事
平成11年	2月	サービス評価事業実施
	10月	居宅介護支援事業所開設
平成12年	4月	介護保険事業による通所介護・短期入所生活介護・訪問介護を開始。 併せて施設名称を社会福祉法人 崇徳会 高齢者総合ケアセンター マザーアースと改める。
	10月	国勢調査施行（ホーム内）
平成13年	4月	通所介護事業の定員を20名から25名に増員する。
	10月	申出窓口及び第三者委員の設置
平成14年	8月	開設10周年記念行事
	9月	埼玉県共同募金会「共同募金受配要望事業」により送迎リフト車整備
平成15年	3月	入所制度の改革により入所検討委員会を設置
	4月	短期入所生活介護事業の定員を16名から20名に増員する 訪問介護事業を廃止する。
平成16年	2月	日本財団「福祉車両助成事業」により送迎リフト車整備
	5月	郵政省「社会福祉事業」により特殊機械浴槽チェアインバス整備
	9月	島田行雄大井町長 敬老祝賀で来所
	12月	「痴呆」の呼称を「認知証」に変更
平成17年	10月	大井町・上福岡市が合併によりふじみ野市となる
	10月	介護保険制度の改正により、室料・光熱費・食事サービスに要する 費用が介護保険の対象外となる
平成18年	4月	介護保険制度の改正により、地域支援事業（介護予防事業）が制度化される
平成19年	3月	在宅介護支援センター閉所
	3月	理事長 野溝 伊之助 退任
	4月	理事長 野溝 守 就任
	4月	地域包括支援センター開所
	9月	島田行雄 ふじみ野市長 敬老祝賀で来所

平成20年	3月	開設15周年記念行事 「堀田 力氏」講演 共催 大井町社会福祉協議会(大井町社会福祉協議会歳末福祉事業配分事業)
	6月	本田技研労働組合研究所支部よりステップワゴン寄贈
	11月	「介護サービス公表」の訪問調査を受けた
平成21年	2月	日本財団「福祉車両助成事業」により送迎リフト車整備 入所検討委員会 第三者委員変更 苦情申請窓口 第三者委員変更 介護職員待遇改善交付金事業の申請を行う
平成22年	2月	介護老人福祉施設事業の定員を50名から56名に増員する 短期入所生活介護事業の定員を20名から14名に変更する
	10月	埼玉県 生活保護世帯の学習支援事業スタート
	11月	平成22年度 松下福祉基金 民間社会福祉施設永年勤続職員海外派遣研修「デンマーク」 相談員が参加
平成23年3月11日	14時46分	東日本大震災の発生 原発事故の被災者2名受け入れる
	3月14日	課長会議招集、計画停電の為エレベーター・ダムウェーテーの使用 不可となるため朝食時間の変更、又、食材不足のため献立の変更。
	3月15日	被災者受け入れ調査(埼玉県福祉部高齢福祉課)に受け入れ可と回答
	3月16日	原発被災者(大熊町)の受け入れ1名
	3月17日	介護職員派遣依頼(埼玉県福祉部高齢福祉課)があり3名登録回答
	3月23日	原発被災者(楢葉町)の受け入れ1名
	3月31日	寄付金 17万円を埼玉県老人施設協議会に送金
	4月8日	計画停電が解除となり、食事時間・献立等を通常に戻す
	12月	第5回埼玉県高齢者福祉研究大会 分科会にて「終末の方のデイサービス利用について」研究発表を行う。
平成24年	6月	介護職員等による喀痰吸引等の実施の体制整備(認定者6名)
	7月	冷暖房設備の整備
	10月	入所検討委員会 第三者委員変更
平成25年5月9日		埼玉県主催 「合同入職式」に7人参加 社会福祉法人として「彩の国あんしんセーフティネット事業」に取り組む
	7月	生活保護世帯の就労体験 3名受け入れ
	8月30日	「マザーアース 開設20年記念パーティー」開催
	9月11日	生活保護受給者チャレンジ支援事業の現場視察のため 田村 嘉久厚生労働大臣 来訪
平成26年	2月12日	「介護の魅力PR隊」へ参加
	8月21日	「平成26年度 県費補助金 大規模修繕工事」着工
	9月1日	「彩の国あんしんセーフティネット事業」開始 埼玉県第2ブロック拠点施設となる。
	9月20日	「埼玉県高齢者福祉研究大会」にて 「高齢者施設で定着しない同性介助について」 研究発表を行う。

平成26年10月 1日	「ふじみ野市介護支援ボランティア制度」開始 ふじみ野市より受け入れ施設として指定される
平成27年 1月 15日	「平成26年度 県費補助金 大規模修繕工事」 竣工
1月 30日	赤い羽根 平成26年度事業共同募金交付事業による ナースコール設置
3月 1日	マザーアース ホームページ 開設
3月 10日	「福祉の心を育む交流事業」ふじみ野市教育委員会にて 各学校（東台小、東原小、大井小、大井中）へ学校図書の 購入費を寄付
9月 24日	「埼玉県高齢者福祉研究大会」分科会にて 「介護現場における声掛けについて」研究発表を行う
10月 29日	埼玉県、ふじみ野市実地指導監査
11月 11日	東台小との交流を皮切りに「福祉の心を育む交流事業」が 始まる
11月 24日	赤い羽根共同募金助成事業監査 実施 民間社会福祉施設永年勤続職員海外派遣研修「デンマーク」 相談員が参加
平成28年 3月 7日	「福祉の心を育む交流事業」にて 各学校（東台小、東原小、大井小、大井中）へ 学校図書の購入費を寄付

3. ケア報告

【特別養護老人ホーム】

平成27年度は、利用者の生活の中で楽しみ、生きがいのある生活を重視し、事故を未然に防ぐ為に事故防止の検討、職員の意識統一を重点的に行った。

- (1) 排泄介助では、その方に合った排泄パターンを見つけトイレ誘導とオムツ交換を実施した。また、利用者に適した排泄用具（オムツ、パット）の検討を行った。

- (2) 余暇活動、コミュニケーションの実施として、おやつ作りやレクリエーションを通して楽しさや親しみを感じて頂き、アロマオイルを使って上下肢の血行をよく通して楽しさや親しみを感じて頂き、アロマオイルを使って上下肢の血行をよくするマッサージを行った。マヒの方や拘縮のある方には可動範囲内でリハビリも兼ねて行うようにした。また、寒い日は足湯を行い、健やかにすごして頂けるよう努めた。

- (3) 職員の資質の向上を図る意味も込めて人を育てるシステム作りキャリアパス制度、チューター制度を昨年に引き続き継続し、新任職員はもちろんのこと、チューターにあたる職員の成長も感じられた。

- (4) 毎月、歯科医や歯科衛生士から助言と指導をしていただくと共に、計画書を作成し、口腔ケアを実施した。

- (5) 施設内で死亡された方が16名。（看取り介護 9名）
御家族が主治医から「今後は看取りの介護になります」との見通しを聞き、職員と共に看取りのためのケアプランを作成した。

「今日一日を大切にする」ために日課で予定されない生活を重視した。

徐々に衰えていく利用者に合わせて看護面、介護面、栄養面で配慮した。

時間を問わず、頻繁に訪問されるご家族には、相談員を中心に気持ちの整理と心の準備について援助した。

看取り介護が終わりケアの振り返りを行うカンファレンスでは、納得の出来る介護が出来たかどうか検討し今後の看取りを行う自信を得た。

「終のすみか」としての役割を果たしたと言える。

- (6) 「看護は介護がなくては活かされない」「介護は看護がなくては安心できない」を基本に医療と介護の連携を行った。

- (7) 虐待防止の係る取り組みとしては、虐待防止対策のために外部研修への参加や施設内研修の実施、心配事やイライラが仕事に差し支えない様に職員のストレスのセルフコントロールが出来るよう職場環境の整備を行った。

- (8) 感染症対策への理解

インフルエンザやノロウイルス等感染症は例年のごとく猛威をふるい、職員やその家族の一部にも影響があった。利用者、職員は全員インフルエンザの予防接種を実施し、職員や職員の家族が感染した際の健康管理ガイドラインに従って対応をとった。除菌水の使用や換気により空気内洗浄を実施し、基本的な手洗いうがいも各自しっかりと行い、予防に努め、今年度は利用者の感染はなく過ごせた。

【デイサービス】

(1) 生活援助

ご利用者の在宅生活の様子をご家族、ご本人、ケアマネジャーから話を伺い、また連絡帳を通して情報交換を行い、報告・連絡・相談を徹底する事により、安全で快適な生活を提案するよう努めた。

(2) 日常動作訓練（生活リハビリテーション）

高齢者に多い転倒、誤嚥などのリスクを考え、予防の意識を個々に持っていただけるように声かけを行い、体操やレクリエーションを通して身体機能の維持に努めた。

(3) 相談

ご利用者から相談がある時は良く話を伺い、必要に応じてご家族・ケアマネジャーとも連絡を図り、安心した生活を送れるように援助した。

(4) 送迎サービス

ご利用者の身体の状況や介護状況に合わせた送迎を行い、また車酔い等の個々の事情も考え、安全面にも配慮した送迎を行えた。雨天時は特にステップ乗車の際等に、滑らないように注意を払った。

(5) 入浴サービス

ご利用者、ご家族のほとんどの方はデイサービスでの入浴を希望されている。ご家庭での健康状態、家族、ケアマネジャーからの情報を元に健康チェックを行い無理のない入浴を実施するように努めた。入浴中の事故を防ぐため、日頃のヒヤリハットを参考にして職員間の声かけ、ご利用者に対しての見守り・声かけなど安全面に配慮するようにした。又「楽しみとしての入浴」を目標に実施した。

(6) 食事

栄養バランスの他、粥食・荒刻み食・極刻み食・ミキサー食・代替食等、できる限りの要望が満たせるよう栄養士と検討し提供した。ご利用者の声を大切に厨房との連携も図った。朝の会で献立を紹介する事で、想像力をかき立てるようにながら、脳の活性化を促した。

(7) 介護サービス

ご家族との状況交換を密にし、各ご利用者のADLに合った介護を提供した。ご利用者に対して画一的な対応でなく、個別の対応も取り入れた。

(8) 介護予防

運動器の現状維持、口腔機能の向上に関するサービスの提供を行い、要支援、要介護状態の改善や重度化の予防に取り組んだ。また、ご利用者ができる限り自立した生活を送れるような支援を心がけた。

(9) 通所介護計画

サービス担当者会議等で、ご利用者の日常生活の状況や希望を確認し、日頃のデイでの様子も考え、居宅サービス計画に沿っての通所介護計画を作成した。半年ごとの見直しを行い御家族、ケアマネジャーに計画内容を理解して頂いた。

(10) 趣味活動

各ご利用者のADL、興味に合ったプログラムを準備し、御利用者の楽しみになるよう提供した。主に紙工作、縫物、編物、色塗り、壁画の共同制作など手指のリハビリにつながるよう御利用者に参加して頂いた。楽しみにつながり、心身の活性になる内容を提供するように努めた。また、舞の会、3B体操、民謡、ちぎり絵、生け花、ハーモニカ、書道等の指導はボランティアの方についても継続してお願いしている。

(11) 行事

四季折々の行事を企画して、季節の移り変わりを感じて頂き、心身の活性へとつなげていった。又「デイサービスを利用して楽しかった」と少しでも感じていただけるようにサービスを提供した。

(12) 職員教育

定期的な研修、意見交換の場（帰りのミーティング）を計画し、日々の業務、利用者へのサービス提供に共通意識をもって取り組んでいけるようにした。
今行なっていることが最高とは思わず、いつでも上を目指しながらサービスに勤しむように心掛けた。

【ショートステイ】

(1) 緊急時

ふじみ野市との契約で、緊急受け入れを行なっている。
平成27年度は6名の相談をいただき、3名の受け入れをした。
富士見市とは契約をしていなかったが、年末の緊急ショートステイの受入を行なった。
また、地域包括支援センターからの依頼にも迅速に対応した。

(2) 利用状況

定員14名の中で、定期的にロングショートステイの方を確保していたが、例年にはない程に特養の利用者がお亡くなりになつた為、ショートステイを利用されていた方のほとんどを入所に転換するという形になってしまった。結果、ショートステイの利用者数の大幅減少に繋がつてしまつた。

(3) 利用者確保

利用予約を待っているだけでお客様が来る時代ではないということを再認識して、入所待機者のケアマネへ当施設のショートステイを利用して頂くよう声掛けを隨時行なつた。

4. 苦情報告

第三者委員の連絡先は、當時廊下の掲示板に貼り出している。今年度は実際に連絡した人はなく、第三者委員の方々にも問題がなくて助かりますとの言葉をいただいた。また、第三者委員に対して苦情の報告会議を行い、一つ一つ説明して意見をいたいた。些細な苦情も書類に残し改善を図ることでサービスの向上を図った。

苦情の内容は、職員の処遇方法、荷物の管理方法、報告・連絡・相談が出来なかつた事、利用者間のトラブルが挙げられた。

27年度は、センサーマット等を使用していたにも関わらず、2件の骨折事故があつた。

平素事故防止のためヒヤリハット委員会を中心に事故の原因やその背景を検討し、対策を考えているが、生活の場としての「身体拘束に依らない介護」には、リスクが常に伴っている。怪我をさせない責任を果たそうとすると、ご本人の自由を制限する方に向いてしまう。かといって、マンツーマンでは見ていられない現実がある。今まで通り事故を回避する対策は取るもの、防ぎきれない事故もありうるということを、施設とご家族の問題だけでなく、広く社会の方々にも理解して頂きたい。「専門職（プロ）だろう」と言われ、怪我をさせないのが当たり前のような考えは、荷が重い。私たちは、どんな障害や問題がある方でもその方にとて、一番良い対応を考えようすることに専門性を感じている。

第三者委員の方々には、苦情対応の難しさや当施設での真摯な対応を理解していただき、今後の改善についてはより一層努力するように助言をいただいた。

5. 安全衛生委員会

(1) 活動実績

- 安全面・衛生面に問題がないか施設内の定期巡回・点検を毎週行った。
- 産業医による環境のチェックを毎月行った。
- 職員の心の健康について
 - ・職員の精神的な問題について相談・受診などのサポートを行った。
- 感染症対策について
 - ・手洗いうがいの徹底、個々の健康管理に関する呼びかけ・ポスター掲示を行った。
 - ・職員会議にて食中毒や感染症の研修を行った。
 - ・利用者ご家族にも、面会の際手洗いうがいの呼びかけを行い、館内に菌等を持ち込まないようにした。
 - ・施設におけるノロウイルス対策の講義に参加した。また、その内容を職員に対して研修を行い、徹底に努めた。
- 健康診断を基にD・E判定の職員へ受信等を促した。

(2) 28年度の活動予定

- 引き続き施設内の定期的な巡回・点検を行い、安全・衛生管理を行っていく。
- 流行感染症への対策を行い、感染症の発生および拡大予防に努める。
- ストレスチェック制度の職員研修を行う。
- ストレスチェックの実施。
- 健康診断を元にした、職員の健康管理のサポートを行う。

6. 特別養護老人ホーム

(1)入所の状況

①保険者別(H28.3.31現在)

保険者	男	女	計
ふじみ野市	8	32	40
富士見市	2	4	6
三芳町	1	2	3
さいたま市	0	0	0
川越市	3	2	5
能代市	0	1	1
志木市	0	0	0
朝霞市	0	0	0

②年齢構成(H28.3.31現在)

区分	男	女	計	割合
65~69歳	2	0	2	4%
70~79歳	4	3	7	13%
80~89歳	4	18	22	40%
90~99歳	4	20	24	43%
100歳以上	0	0	0	0%

③平均年齢(H28.3.31現在)

(才)

	最高年齢	最低年齢	平均
男性	95	69	82.1
女性	98	76	88

男女平均 (86.5)

④平均介護度の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平均介護職	4.00	4.03	3.98	4.01	4.05	4.03	3.98	4.00	3.96	4.00	3.98	4.01

⑤要介護度入所者構成(H28.3.31現在) 平均介護度 4.0

要介護1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	合計
0	2	12	25	16	55

(2) 月別入退所者数

	前月末人員	本月入所者	本月退所者	本月末人員
4月	56	2	3	55
5月	55	2	4	53
6月	53	3	0	56
7月	56	0	0	56
8月	56	3	3	56
9月	56	2	3	55
10月	55	3	3	55
11月	55	3	2	56
12月	56	1	1	56
1月	56	1	2	55
2月	55	1	0	56
3月	56	0	1	55
合計	665	21	22	664

入所者
男性 7名、
女性 14名

退所者
男性 4名、
女性 18名

*退所理由 →
死 去 18名
(ホーム内の
死去 16名)

※御家族や嘱託医の協力を得て各職域の全力ケアのもと
ホーム内で安らかなターミナルを迎えた方達が 16名
いらっしゃいました。

(3) 行事実施状況

① 年間行事実施状況

月	日	行 事 名
4月	23	ホーム喫茶
5月	28	ホーム喫茶
6月	11	フルート演奏会
	25	ホーム喫茶
7月	23	ホーム喫茶
8月	1	夏まつり
	27	ホーム喫茶
9月	21	敬老会
	24	ホーム喫茶
10月	5・26	福祉園芸
	6	なみき幼稚園マーチングバンド
	22	ホーム喫茶
11月	4・11	東台小 交流会
	10・24	福祉園芸
	26	ホーム喫茶
12月	6	東入間警察少年剣道
	10	フルート演奏会
	23	福祉園芸
	24	ホーム喫茶
1月	14・28	福祉園芸
	21	新年歌謡ショー
	28	ホーム喫茶
2月	4	東原小音楽クラブ
	12・26	福祉園芸
	25	ホーム喫茶
3月	5	大井中 合唱交流会
	8	東台小 合唱交流会
	24	ホーム喫茶

※「福祉の心を育む事業」では、今年も近隣の小中学校を対象として交流を行い、施設は学校図書を寄付する流れを社会福祉協議会と一緒に協力しながら、世代間交流を深めています。今年は、福祉園芸体験として、さいたまの花普及促進協議会の国産花きイノベーション推進事業に参加し、施設の利用者と共に園芸と生け花をH27年10月～H28年2月の期間で実施しました。寄せ植えの花も4月以降目を楽しませてくれています。ボランティアの方の協力もあり、とても貴重な体験ができました。

② 週間のケア

	AM				PM		
	特 A	特 B	ショート	入浴	特 A	特 B	ショート
月	※	※	※	Aグループ	口腔アセスメント	包布交換	※
火	美容	美容	美容	Bグループ	居室水モップ	口腔アセスメント 居室水モップ	※
水	ちぎり絵	※	ちぎり絵	Cグループ	※	リハビリ	※
木	※	※	※	Aグループ	ミーティング	ミーティング	※
金	習字教室	※	習字教室	Bグループ	回診 居室水モップ	回診 居室水モップ 遊び	回診 ミーティング
土	※	※	※	Cグループ	環境整備	環境整備	環境整備
日	浴室清掃 環境整備	環境整備	浴室清掃 環境整備	希望者	ケアプラン記録 車椅子清掃 介護課会議	ケアプラン記録 車椅子清掃 介護課会議	ケアプラン記録 車椅子空気入れ 介護課会議

※ 毎日の業務

- ・入浴
 - ・シーツ交換
 - ・水分補給
 - ・部分清拭
 - ・口腔ケア
 - ・髭剃り、整容
 - ・食堂清掃
 - ・コミュニケーション
- 利用者あたり 週二日 実施
 利用者あたり 週一日 実施
 毎日、午前、午後に実施
 2階フロア毎日実施
 毎日実施 アセスメント週一回
 火曜、金曜

ショートステイ業務

ショート利用者の入退所業務
 送迎、荷物整理、ベッドメイキングなど

③月間・年間実施表

月 間 実 施 表

舞の会・3B体操・クローバー・学生ボランティア
 レクリエーション・ホーム喫茶・体重測定
 講話会・コーヒータイム・精神科
 ナースコールチェック

職員会議・リーダー会議・各部署会議
 看護介護課会議・給食会議
 ホーム内研修・検便

年 間 実 施 表

利 用 者 健 康 診 断
 職 員 健 康 診 断
 外 部 研 修

(4) 面会者状況

平成27年4月1日～平成28年3月31日

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
面会者数	167	232	173	185	159	145	140	128	138	130	118	104

1年間合計 1, 819人
月 平 均 152人

(5) 外出状況

平成27年4月1日～平成28年3月31日

家族と共に外出して食事や買い物を楽しむ利用者は2人、自分で外出して、好きな昼食をとったり、買い物してたりする利用者は1人、また、行事等で外出された方は39名いらっしゃいました。

面会に訪れるご家族は定期的に来られる方が主で、面会の全くない利用者も数人いらっしゃいました。

残念ながら、外泊をされる方はいませんでしたが、面会される方々には手足のマッサージ等を一緒に行なながら、時間の共有を勧めるようにしています。

7. 在宅支援について

(1) 短期入所生活介護現況(H28.3.31現在)

①保険者別(H28.3.31現在)

保険者	男	女	合計
ふじみ野市	1	4	5
富士見市	0	1	1
狭山市	0	1	1
板橋区	1	0	1
三芳町	1	1	2
合計	3	7	10

②年齢構成(H28.3.31現在)

区分	男	女	計	割合
40~69歳未満	0	0	0	0%
70~80歳未満	1	1	2	20%
80~90歳未満	1	5	6	60%
90~100歳未満	1	1	2	20%
100歳以上	0	0	0	0%
合計	3	7	10	100%

③平均年齢(H28.3.31現在)

(才)

	最高年齢	最低年齢	平均
男性	91	70	81.7
女性	95	78	84.3

男女平均 (83.5)

④平均介護度の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平均介護度	3.1	3.0	3.0	3.1	2.9	2.7	2.9	2.6	2.5	2.3	2.8	2.9

⑤要介護度別構成

要介護1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	合計
1	2	4	3	0	10

(2) 平成27年度 短期入所 報告

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実人数(26年)	23	29	22	26	23	22	24	26	26	23	21	20	285
延人数(26年)	386	389	257	303	342	337	326	330	336	280	254	233	3773
実人数(27年)	24	23	22	18	22	18	23	21	23	22	16	10	242
延人数(27年)	231	305	280	235	304	160	214	171	232	226	199	160	2717

2. 平均利用者数 平成26年度 平均 9.5 人 平成27年度 平均 7.2人
 3. 総利用者数 平成26年度 3,791 人 平成27年度 平均 2,654人
 平成26年度 95 % ロングショートステイ 4/14 人
 ↓
 平成27年度 51 % ロングショートステイ 5/14 人

4. 介護度別利用日数

H26年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
要介護1	30	52	44	43	49	40	37	40	37	35	21	4	432
要介護2	29	41	34	32	77	59	24	40	35	50	50	33	504
要介護3	165	131	38	113	86	94	107	101	12	95	109	115	1166
要介護4	107	117	99	86	101	95	98	90	96	57	48	53	1047
要介護5	40	42	42	29	29	49	60	59	56	43	26	28	503
要支援1	5												5
要支援2									2				2

H27年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
要介護1	4	11	19	3	19	2	5	13	4	14	3	2	99
要介護2	61	81	67	46	122	43	47	59	74	91	48	37	776
要介護3	81	68	61	55	59	78	70	54	114	99	88	62	889
要介護4	70	102	85	98	80	30	78	31	21	14	60	59	728
要介護5	24	42	31	31	21	0	0	0	0	0	0	0	149
要支援1	0	0	9	2	0	0	0	0	0	0	0	0	11
要支援2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2

要介護3～5 平成26年度 2,816人 およそ75%
 平成27年度 1,766人 およそ67%

平均介護度 … 3.3
 平均利用者日数… 7.2
 平均利用者年齢… 83.5

全体的に利用人数が減っているのは勿論だが、要介護1が大幅に減り、要介護2だけが増えている。これは、制度的に入所できず、しかし在宅では看ることができないギリギリの方が増えているからではないかと思われる。

要介護3～5(特に5)が減っているのは、施設の数も多くなっている事や、どの施設も収入の面で安定している要介護5を優先的に入所させていくことが、大きな原因となっているのではないかと思われる。

今後のショートステイの利用者獲得については、他事業所の居宅介護支援事業へ営業に行くのは当然だが、入所待機の方にも目を向けて、当施設のサービスを優先的に利用していただく事で施設への入所がスムーズになることを伝えながら、ショートステイやロングショートステイに繋げていければと考えている。

(3)年間短期入所生活介護利用状況(自費払い含む)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人員	24	23	22	18	22	18	23	21	23	22	16	10	242
延べ人数	231	305	280	235	304	160	214	171	232	226	199	160	2,717
1日平均(日中)	8.6	9.8	9.3	7.6	9.8	5.4	7.0	5.7	7.5	7.3	7.1	5.2	7.6
平均利用日数	9.6	13.2	12.7	13.0	13.8	8.9	9.3	8.2	10.0	10.3	12.4	16.0	11.5

(月平均 実人員 20.2 月平均 226.4)

(4)年間通所介護利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人員	40	39	38	37	34	34	37	36	34	32	32	31	424
延べ人数	410	334	351	378	325	355	379	378	349	315	334	391	4,299
介護予防 実人員	6	6	6	5	5	5	5	5	5	5	4	4	61
介護予防 延べ人数	28	34	31	29	29	31	34	32	35	30	27	28	368
1日平均(日中)	18.6	15.9	15.9	16.4	15.4	16.1	17.2	18.0	16.6	15.7	15.9	17.0	16.5

(5) 通所介護現況(H28.3.31現在)

①保険者別

保険者	男	女	合計
ふじみ野市	4	23	27
富士見市	0	1	1
三芳町	1	3	4
合計	5	27	32

②年齢構成

区分	男	女	計	割合
40~70歳未満	0	1	1	5%
70~80歳未満	2	4	6	18%
80~90歳未満	1	14	15	46%
90~100歳未満	2	8	10	31%
100歳以上	0	0	0	0
合計	5	27	32	100%

③平均年齢

	最高年齢	最低年齢	平均
男性	91	70	81.4
女性	95	62	84.9

④平均介護度の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平均介護度	1.98	1.93	1.90	1.88	1.83	1.83	1.91	1.97	1.85	1.82	1.76	1.78
要支援1・2	6	6	6	5	5	5	5	5	5	5	4	4

⑤要介護度別構成

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
1	3	11	10	6	1	0	32

(6) 通所介護報告書(H27.4月～H28.3月)

①利用延べ人数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ人数	410	334	351	378	325	355	379	378	349	315	334	391
利用日数	22	21	22	23	21	22	22	21	21	20	21	23
平均利用者数	18.6	15.9	15.9	16.4	15.4	16.1	17.2	18.0	16.6	15.7	15.9	17.0

②介護度別延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援 1	4	4	5	5	5	4	0	0	0	3	3	4
要支援 2	24	30	26	24	20	22	30	28	30	23	24	24
要介護 1	106	103	109	112	107	108	129	116	117	117	129	140
要支援 2	146	136	145	177	121	143	119	127	116	93	107	143
要支援 3	109	38	43	45	62	66	86	95	81	71	63	73
要支援 4	19	22	13	11	10	12	15	12	5	8	8	7
要支援 5	2	1	10	4	0	0	0	0	0	0	0	0

③介護度別利用者実人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援 1	1	1	1	2	1	1	0	0	0	1	1	1
要支援 2	5	5	5	3	3	3	4	4	4	3	3	2
要介護 1	10	11	11	12	11	11	12	12	11	11	12	11
要支援 2	13	12	12	11	10	10	10	10	10	8	8	10
要支援 3	7	6	6	6	8	8	9	8	8	8	7	6
要支援 4	3	3	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1
要支援 5	1	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	40	39	38	37	34	34	37	36	34	32	32	31

④新規利用者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
マザー	0	1	0	1	0	0	2	0	0	0	0	1	5
おおい	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
他	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2

※マザーは「マザー居宅」、おおい「包括おおい」、他は「他事業所」

⑤退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入院	0	1	0	2	1	1	0	1	2	0	0	0	8
老健	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
他施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マザー	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
他界	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※他施設→他のデイ・デイケア・ショート等 マザー→ショート・入所 他→転居など

※他の施設にいかけられた理由→リハビリがしたい(他のデイケア)・その他施設に入所したい(グループホーム)

マザーの回数が増やせない(他のデイ)・送迎が難しくなった(他のロングショート)

⑥平均介護度…1.7

⑦一日平均…16.5人 月平均…358人

(昨年度 一日平均18.6人 月平均 369人)

(7) 通所介護年間行事

4月 マザーアース南庭にてお花見
地蔵院へしだれ桜をお花見

5月 いちご大福作り（5／11）

5月～6月 くら寿司へ外食
(5／27・5／29・6／1・6／3・6／9・6／11
6／15・6／23)

7月 七夕行事（7／6）
天の川寒天作り（7／7）

8月 夏祭り（8／24）
ベビーカステラ作り（8／27）

9月 敬老会（9／29）
ずんだ餅とお萩作り（9／30）

10月 運動会（10／30）

11月 かぼちゃのモンブラン作り（11／24）

12月 雪だるまチョコ作り（12／24）
クリスマス会（12／24）

1月 新年会（1週間かけて職員の出し物実施）
あんことクリームのどら焼き作り（1／29）

2月 節分行事（2／2）
三色だんご作り（2／22）

3月 雛祭り行事（3／3）
フルーツポンチ作り（3／29）
地蔵院へしだれ桜をお花見（3／24・3／26）

- ・27年度は「外食」を全体で計画・実施できた。
- ・行事やおやつ作り等の様子がご家族にわかるよう、写真を撮り配布した。
- ・行事やおやつ作りは、より季節感を意識しながら取り組んだ。
- ・誕生日会のプレゼントを職員で作り、全員にお渡しした。
- ・28年度は利用者様の集客としてリラクゼーション型のデイサービスを目指し、「外出行事」として以前好評だった「外食・買い物」の実施、11月に秋の音楽祭を行う方向で検討し、取り組んでいきたい。

8. 施設内事故報告

平成26年度		平成27年度	
・ヒヤリハット	203件	→	180件
・事故	51件	→	62件

- ・委員会会議は月に2回、15時から実施
月末の最終月曜日に当月の事故・ヒヤリハットの報告と対応策の検討
2週間後の月曜日にフィードバックとして、検討した対応策の結果報告を行ない、
良ければ継続悪ければ再検討する。また歩行のつまずき、車椅子での立ち上がり、
利用者同士のトラブルなどヒヤリの前の気になる行動をミニヒヤリとして報告を行なうようにした。今後も継続していく。

- ・平成27年度の集計
 - ① 事故： 62件 (利用者数 37人) (26年度33人)
 - 骨折： 5件
 - 病院受診 (打撲、裂傷など) : 4件
 - ② ヒヤリ： 180件 (利用者数 53人) (26年度70人)
 - ③ 今後の課題
 - ・会議の参加
勤務等の配慮があり、委員が出席できた。
委員が会議までに報告書のチェックをできないことがある。勤務内で時間を
つくれるよう配慮が必要。
 - ・記録
報告書の提出は職員に習慣づいてきたので内容の向上を目指したい。
日付、時間、状況内容、どう対応したかをきちんと記入する。
また、事故やヒヤリ行動前の巡視や入眠中もきちんと記録することも大切である。
→原因と突き詰めていくと、反省点、今後の対応対策が見えてくると思う。
 - ・利用者の状態の把握
 - ① 歩行時のふらつきや転倒、車椅子からのずり落ち、異食、利用者同士のトラブル
など、利用者一人一人が持っているヒヤリ行動を把握して、適切な対応ができる
ようにする。
 - ② 担当部署以外の利用者に関しても状態を把握して、とっさのヒヤリ行動に対応で
きるようにしていく。

③ 事故やヒヤリが起きてしまった時は、その日のうちに部署で対応策を話し合い、他の部署にも申し送る。

- ・職員の危機管理能力の向上

ヒヤリハットの話し合いの中で、職員一人一人の行動に関する危機意識を計り、低い場合は、危機管理能力を高めるようにしていく。

- ・施設全体で利用者の行動について考え、対応していく。

各部署で見守りが困難な時間帯は、見守りが可能な部署や課が、ヒヤリ行動のある利用者の見守りを行うようにしていく。

(1) 平成27年度事故・ヒヤリハット件数報告

(件)

	ヒヤリハット	事 故		ヒヤリハット	事 故
4月	16	6	10月	10	5
5月	8	4	11月	16	3
6月	20	13	12月	11	7
7月	13	4	1月	19	7
8月	22	4	2月	19	5
9月	11	3	3月	15	1

(2)事故発生場所 時間

	17:31～0:00 準夜勤	0:01～9:00 深夜勤	9:01～12:00 午前中	12:01～17:30 午後	計
玄関					
中庭					
南庭					
お風呂			4		4
ベランダ					
1階 居室		5	2	1	8
廊下(談話室)	2	1	4	3	10
トイレ	1	1			2
食堂		1			1
2階 居室	8	5	2	1	16
廊下	2	1	3	3	9
トイレ		1	1	3	5
食堂		1		3	4
その他	1		1	1	3
計	14	16	17	15	62

(3)ヒヤリハット発生場所 時間

	17:31～0:00 準夜勤	0:01～9:00 深夜勤	9:01～12:00 午前中	12:01～17:30 午後	計
玄関				1	1
中庭					
南庭					
お風呂			7	2	9
ベランダ					
1階 居室	4	9	6	3	22
廊下(談話室)	2		5	6	13
トイレ		3	1	3	7
食堂	2	3			5
2階 居室	24	21	10	15	70
廊下	5	6	8	12	31
トイレ	1	2		1	4
食堂	2		5	4	11
その他			2	5	7
計	40	44	44	52	180

9. ボランティア受け入れ状況

ボランティアの活動は日常的に定着した。特に地域の子供たちの来所は、利用者の楽しみと生きがいになっている。

ボランティア活動状況

契り絵ボランティア	毎週水曜日	3名
地域ボランティア	毎週木曜日	4グループ1~7人
習字ボランティア	隔週金曜日	2名
舞の会（特養）	月1回	3名
舞の会（デイ）	月1回	3名
3B体操	第一月曜日 第四火曜日	1名
美容ボランティア	毎週火曜日 隔週金曜日	2名
介護相談員	月2回	2名
クラリネット演奏	月1回	1名
民謡ボランティア	第二水曜日	5名
傾聴ボランティア	月5回	6名
生け花	月2回	1名
ハーモニカ	月2回	1名
文京大学 ボランティア		20名

○ 学校関係・地域への協力・・・なみき幼稚園・東原小学校・東台小学校
大井小学校・大井中学校・三芳小学校

※傾聴ボランティア（むすび）とは・・・

利用者の方の傾聴を必要とする人のお話に耳を傾け、その気持ちに寄り添うことで心や身体の健康を増進。利用者が安心して過ごせるよう、活動して頂いている。

※介護相談員とは・・・

市町村が「事業の実施にふさわしい人格と熱意をもつていると認めた人で、一定水準以上の養成研修を受けた人」と定められている。

介護相談員は、まず利用者から苦情や不満等をよく聞いたのち、本人への助言や法人側と意見交換を重ねて問題のありかを提示し、サービスの質の改善につながる提案をします。また、行政機関の関与が必要な場合は市町村の事務局を通じて適切な対応策をとります。介護相談員は、サービス利用者・サービス提供者・行政機関の橋渡し役です。

10. 実習の受け入れ

実習期間はさまざまであったが、受け入れの際は担当者を置き、計画的な対応を行なった。

6月1日～7月3日 2月8日～2月26日	文京学院大学	2人 2人
7月2日～7月15日		2人
10月5日～11月4日	埼玉福祉専門学校	3人
1月18日～1月29日		2人
7月8日～7月10日	三芳中学校	3人
9月2日～9月4日	勝瀬中学校(2年生)	6人
10月19日～11月6日	立教大学	1人
11月4日		30人
11月11日	東台小学校	30人
11月29日		30人
1月29日～31日	大井中学校	3人
2月4日	東原小学校	30人

11. 生活保護世帯の子供への教育支援

月・水・木曜日の18:00～20:00を学習時間として、中学生(主に生活保護家庭)の教育支援の場として1階の食堂を提供した。支援員、ボランティアの参加も含め一日40人程の出席があった。それぞれに希望の進学先に進むことが出来た。

(40人中40人高校進学)

学習の他、クリスマスや年度末の集まりにはお菓子等の差し入れを行い、喜んで頂いた。学生たちは寄せ書きや夏祭りの設備作り等で協力してくださった。

相互の信頼関係が構築できた。

12. 職員研修

(1) 外部研修（職員の資質向上を図るため、施設外の研修に参加した）

4月	17日	「定期総会」「施設長会議」「情報交換会」	4名
	20日	学内採用ガイドンス	1名
	24日	H27年度管理者キャリアパス研修（24、30）	2名
	30日	H27年度介護職員合同入職式	6名
5月	18日	医療・介護経営戦略セミナー	1名
6月	2日	H27年度チームリーダーキャリアパス研修（2、4）	1名
	10日	栄養士研修会	1名
	18日	デイサービス部会研修会①	1名
	22日	H27年度中堅職員キャリアパス研修（22、23）	1名
	26日	感染症基礎研修会	1名
7月	7日	看護職員研修会	1名
	13日	H27年度初任者キャリアパス研修（13、15）	1名
	24日	人事労務セミナー	1名
	31日	彩の国あんしんセーフティーネット事業 (7/31、8/28、9/18)	1名
		コミュニケーションーシャルワーク基礎研修 (7/31、8/4、5)	1名
8月	8日	福祉の仕事・保育の仕事就職フェア	1名
	10日	ナレッジ・マネジメントとは何か（10/7）	1名
	19日	彩の国あんしんセーフティーネット事業 ブロック会議・研修	4名
	31日	事務員研修会①	1名
		社会福祉法人監査研修	1名

9月	2日	H27年度埼玉県老施協 施設長研修会	2名
	7日	介護職員研修会①	1名
		H27年度埼玉県社協 青年部会 第2回研修会	1名
	9日	看護職員研修会②	1名
	10日	社会福祉法人危機管理研修	3名
	25日	財務管理研修	1名
10月	3日	介護福祉士実習指導者講習会(3、8、12、11/28)	1名
	5日	社会福祉施設におけるマイナンバー制度セミナー	1名
	16日	危機管理に関する研修	1名
		介護支援専門員研修会①	1名
	20日	多職種チームケア研修会①(20、21)	2名
11月	4日	人間福祉学科 実習研究協議会	1名
	5日	全国老施協 「現場発信!タウンミーティング」	3名
	9日	H27年度埼玉県社協 レクリエーション研修	1名
	18日	福祉職員のためのターミナルケア研修	1名
	20日	デイサービス部会研修会②	1名
	28日	埼玉県地域生活定着支援センター研修会	1名
12月	4日	コミュニケーション・スキルアップ研修 (4、H28.1/8、1/15)	2名
	7日	多職種チームケア研修会②	1名
	14日	H27年度埼玉県社協 共生・共助つながりづくりシンポジウム	1名
	16日	女性リーダー研修会	1名
	17日	H27年度埼玉県老施協 職員研修会	1名

1月	5日	福祉サービス苦情解決セミナー	2名
	8日	新任職員フォローアップ研修（8、13）	1名
	14日	第2回社会貢献活動推進連絡会議	3名
	16日	ケアマネジメント研修会	1名
	21日	全国経営協 H27年度労務管理セミナー H27年度埼玉県老施協 第2回施設長会議	1名 2名
	25日	認知症ケア向上研修	1名
2月	2日	H27年度社会福祉法人管理者研修	2名
	4日	介護職員等永年勤続表彰 表彰式 介護の魅力P R隊任命式及び 介護職員・事業所表彰式	2名 5名
	8日	栄養士・調理員研修会②	2名
	12日	彩の国あんしんセーフティーネット事業 ブロック会議・研修	3名
	15日	介護支援専門員研修会②	1名
	17日	H27年度中堅職員フォローアップ研修（17、18）	4名
	19日	相談員研修会②	2名
	27日	埼玉の老人を考える会 第3回研修会	1名
3月	1日	コミュニティソーシャルワーク実践者交流会	1名
	9日	第2回社会福祉法人制度改革対応セミナー	2名
	16日	介護実践セミナー 介護施設産業展 介護施設ソリューション展 (16、18)	2名
	18日	介護の魅力P R隊 意見交換会	1名
	29日	「高齢者虐待対応を考える 早期対応のために何をやるべきか」 ロボットスーツHAL介護支援用体験商談会	4名 2名

(2) 施設内研修

- 4月 1日 新入職員研修
29日 個人情報保護について
食中毒について
- 5月 27日 感染症対策について
個人情報の管理について
- 6月 24日 褥瘡予防について I
事故発生の防止について
- 7月 22日 看取り介護について I
事故防止のために
- 8月 1日 看取り介護について
26日 高齢者虐待防止のために I
- 9月 28日 事故発生の防止について
- 10月 28日 感染症対策について II
- 11月 10日 研修・日程について
25日 口腔ケアに関する研修
27日 消防訓練
- 12月 23日 褥瘡予防について II
- 1月 27日 高齢者虐待防止のために
- 2月 24日 看取り介護について
- 3月 23日 苦情「ヒヤリ・ハット」から学ぶ
来年度の計画より「運営方針」について

13.健康管理

(1) 健康管理処置状況

月 項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
検温	755	763	764	792	755	747	777	701	736	682	676	751	8,899
血圧測定	518	499	505	528	496	487	502	463	514	469	472	503	5,956
体重測定	51	57	43	55	55	53	55	52	56	56	52	54	639
心臓貼布剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
湿布貼布	4	1	0	4	2	0	8	4	0	2	3	0	28
常時投薬	1311	1402	1447	1488	1479	1345	1471	1433	1518	1499	1395	1537	17,325
臨時投薬	277	267	251	281	276	220	277	277	316	298	276	299	3,314
軟膏塗布	432	377	309	300	292	222	223	210	220	206	218	266	3,275
座薬(消炎鎮痛・解熱)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
レシカル	1	1	1	1	3	0	0	2	4	8	4	4	29
浣腸	14	8	2	1	5	6	10	5	9	5	12	11	88
摘便	7	8	6	15	12	4	10	5	6	6	9	7	95
点眼薬	246	248	299	295	274	282	293	270	293	306	308	366	3,480
外科的処置	137	165	118	107	84	67	40	53	62	58	90	101	1,082
点滴	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2
酸素吸入	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
ネブライザー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
吸引	0	2	0	8	0	8	2	0	0	0	0	0	20
注射	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
針・灸・マッサージ	16	11	28	8	7	16	18	14	18	27	39	36	238
臨時処方箋あり	16	55	28	31	36	31	16	5	39	10	5	9	281
ショートステイ	205	283	244	226	295	132	181	144	203	207	183	174	2,477
入院	73	30	9	31	47	32	35	16	0	21	41	37	372

(2) 通院・入院状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外 科	(男)						1			3			
	(女)												
内 科	(男)								1		1		
	(女)	1		3	1								
泌尿器科	(男)						1						
	(女)												
整 形	(男)								1	1			
	(女)												
皮膚科	(男)	2		1	2	1				1	1		
	(女)												
歯 科	(男)					3							2
	(女)						1			1			
脳外科	(男)										1	1	
	(女)												
眼 科	(男)									1	1		1
	(女)						1			1			
入 院	(男)	1		1				1			1		
	(女)	1	1			3					1	1	
月末現在													

入院者

田村様 入院中～5/27 6/22～8/10
 萩原様 4/7～27
 星野様 5/28～6/1
 竹原様 8/5～入院 退所
 井上モミ様 8/28～9/2
 大曾根様 8/18～28
 高松様 10/28～11/10
 木村様 1/21～入院
 佐藤みづ子様 1/16～26
 中村敦子様 2/17～3/7

(3) 27年度 常食給与栄養摂取量

	エネルギー (Kcal)	蛋白質 (g)	脂肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミンA (μgRE)	ビタミンB1 (mg)	ビタミンB2 (mg)	ビタミンC (mg)
マザーハーストにおける1人1日当りの栄養必要量	1327	56	37	600	10	600	1.1	1.1	100
4月	1507	65	37	593	10.4	1043	2.23	1.09	126
5月	1562	66	40	604	10.5	1062	1.71	1.09	128
6月	1546	66	39	592	10.6	1041	2.29	1.10	129
7月	1539	64	39	587	10.6	1043	1.71	1.06	130
8月	1557	66	40	606	11.0	1075	1.75	1.10	132
9月	1549	65	39	613	10.4	1048	1.74	1.08	130
10月	1552	66	39	611	10.6	1062	1.72	1.09	131
11月	1555	67	39	603	11.0	1048	1.76	1.09	131
12月	1551	67	38	607	10.8	1071	1.72	1.09	132
1月	1560	67	40	593	10.7	1058	1.73	1.08	130
2月	1548	67	38	608	10.8	1065	1.79	1.09	131
3月	1551	66	39	608	10.7	1082	1.72	1.10	130
年間平均	1548	66	39	602	10.7	1058	1.82	1.09	130

(4) 平成27度 行事食 実施記録

月 日	行事名	
5月5日	端午の節句	・赤飯・天麩羅・ブロッコリーゼリー寄せ・果物(マンゴー) ・清汁(桜生麩、三つ葉)・草饅頭
7月7日	七夕	・七夕そうめん・天婦羅(キス、しし唐、しめじ)・かぼちゃのそぼろあんかけ ・果物(メロン)・七夕羊羹
7月24日	土用の丑	・ごはん・うなぎの蒲焼・冬瓜の方ニ風味あんかけ・清汁(花麩、わかめ) ・果物(フルーツヨーグルト)
9月21日	敬老の日	・赤飯栗添え・お口取り(サーモン、宝玉寄せ、お多福豆)・天婦羅 ・里芋饅頭・清汁(生紅葉麩、三つ葉)・果物(メロン、巨峰)
9月27日	十五夜	・鮭の月見蒸し・南瓜のそぼろあんかけ・味噌汁(茄子、油揚) ・果物(パインアップル)・月見まんじゅう
11月3日	文化の日	・五目寿司・ミートローフ照り煮・春菊のピーナツ和え・清汁(生紅葉麩、三つ葉) ・果物(柿)・草饅頭
12月22日	冬至	・赤飯・鮭の柚香漬け・かぼちゃの含め煮・清汁(花麩、わかめ) ・果物(りんご缶)
12月25日	クリスマス	・ピラフ・ローストビーフ・ビーンズサラダ・南瓜ポタージュ ・果物(キウイフルーツ)・おやつ(ショートケーキ)
1月1日	お正月	・おせち料理(一の重:エビの鬼がら焼き・数の子・栗きんとん・伊達巻・黒豆煮豆) (二の重:煮〆・紅白なます)・赤飯・清汁(生梅麩、三つ葉、柚子) ・果物(苺/ミルクかけ)・甘酒
1月2日	お正月	・おせち料理(一の重:天麩羅・スマーカサーモン・花三色・紅鮭昆布巻) (二の重:海老と帆立の若菜蒸し・カリフラワーサラダ)・鯛めし・清汁 ・果物(白桃缶ゼリー)・甘酒
1月7日	七草粥	・七草かゆ(小松菜・大根・椎茸・鶏肉・卵)・うずら豆佃煮・ほうれん草のお浸し
1月11日	鏡開き	・おやつにお汁粉
2月3日	節分	・豆ご飯・いわしの蒲焼・春菊の中華風和え・清汁(花麩、わかめ) ・果物(苺)・おやつ(甘納豆)
3月3日	雛祭り	・五目寿司・お雛様・菜の花の辛子和え・清汁(花麩、三つ葉)・果物(苺) ・おやつ 道明寺桜もち、甘酒

(5) 27年度反省点 栄養課

○利用者の身体・精神状態、食習慣に考慮した食事の提供

- ・個々に合った食事を提供できるよう、食事をしている様子をみる機会を増やした。
- ・利用者向けのメニューを数種類取り入れた。今後も利用者の嗜好に合った新メニューを増やす。
- ・検食簿の意見や調理員同士の感想を参考に調理法を確認し、悪かった点はレシピを見直し、よかつた点は職員同士で共有した。
- ・ソフト食（お粥ゼリー）を取り入れ、利用者がより安全に召し上がるよう工夫した。
- ・汁物のトロミを見直し、全員が同じ形で提供できるよう話し合った。

○他部署との連携

- ・定期的に栄養管理会議を開き、利用者に合った食事を提供できるよう他部署と話し合いを行った。
会議内容を充実させたい。

○職員の質の向上

- ・新入職員の育成に苦労した。
新入職員には専属で教えられるよう、チューター制度を導入し、できるだけ勤務時間をそろえる。
新入職員のペースに合わせ、焦らずゆっくり確実に覚えていってもらう。
余計な私語は慎み、仕事に集中できるような環境をつくる。
周りのサポートが必須なので、チューターだけでなく全員で育成する気持ちを持つ。
- ・定期的にミーティングを行い、情報・意思の共有とともにひとりひとりのモチベーションを上げる。

○調理技術の向上

- ・職員同士でよくできたものを参考にし、共有することができた。

○衛生・安全面

- ・消毒・殺菌の徹底し、利用者に食中毒・感染した方が出ることなく衛生管理ができた。
- ・仕込み方法を工夫することにより、包装されているものの混入を防いだ。
- ・調理器具・食材の扱いに注意を払い異物混入を防いだ。

○栄養ケアマネジメント

- ・できるだけ利用者に話しかけるよう気を付けた。
利用者の様子をしつかり見られるよう、機会を増やした。

14. 居宅介護支援事業所

(1) ケアプラン関係

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規受付	3	0	3	2	0	3	8	1	5	0	2	3	30
実施件数	61	57	56	56	58	59	64	63	66	63	65	62	730

※住宅改修、福祉用具購入のみのケアプランは実施件数に含まれない。

(2) サービス利用状況(実人数)

通所介護	32	32	35	36	36	37	40	40	40	38	38	35	439
訪問介護	16	15	15	14	13	15	15	16	18	16	17	14	184
短期入所生活介護	16	12	11	11	14	12	13	12	14	13	10	9	147
短期入所療養介護	1	1	1	2	1	1	1	2	1	1	1	1	14
福祉用具貸与	34	31	30	30	31	34	37	37	37	39	39	37	416
訪問看護	5	5	5	5	5	5	4	4	4	5	5	6	58
通所リハビリ	15	16	11	11	11	12	11	10	10	10	9	9	135
訪問リハビリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3
訪問入浴	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	2	2	9
計	119	112	108	109	111	116	121	122	126	125	122	114	1405
利用事業所数	43	43	42	42	42	42	42	44	45	47	45	46	523

(3) 申請代行

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険 (更新・新規・変更)	3	2	3	5	4	2	2	3	4	6	2	10	46
住宅改修	0	0	0	0	0	0	2	1	1	2	1	2	9
福祉用具購入	0	0	0	0	2	0	2	0	0	1	0	1	6
計	3	2	3	5	6	2	6	4	5	9	3	13	61

・職員人数に比べて、ケアプラン人数を増やすことができなかった。

⇒今後は少しでも増やす方向で頑張りたい。

・日頃から情報交換ができていたので、担当不在でもある程度対応することができた。

⇒ 28年度も同じように情報共有に努めていきたい。

・パソコンの入力(支援経過、担当録など)が追いつかず、たまってしまうことが多かった。

⇒出来るだけ早めに入力し、時間をうまく使える様努力していく。

15.高齢者あんしん総合センター

1 相談

○相談件数 (単位:件)	時間内	時間外
①来 所	171	0
②電 話	3,308	83
③訪 問	1,238	18
④その他	97	4
合 計	4,814	105

※その他とは、電子メール・FAX等の場合。

○相談者の区分 (単位:件)

①本 人	1,792
②家族・親族	1,359
③介護支援専門員	451
④介護サービス事業所職員	1,107
⑤行政関係者	362
⑥関係機関	458
⑦民生委員	115
⑧近隣・知人	27
合 計	5,671

※複数可

○利用者基本情報作成件数(単位:件)

枚数
14

○相談内容 (単位:件)

①介護相談	114
②介護保険サービス	3,510
③介護保険の地域支援事業	281
④保健・医療・福祉	541
⑤権利擁護	72
⑥安否確認	21
⑦生活面	585
⑧家族	27
⑨金銭面	35
⑩住居	60
⑪近所・地域	30
⑫その他	30
合 計	5,306

○利用者基本情報作成件数(単位:件)

作成件数
23

2 権利擁護業務

○相談件数 (単位:件)		新規	継続
成年後見制度(再掲)		2	7
消費者被害(再掲)		2	0
困難辞令(再掲)		4	44
虐待対応	①相談件数(再掲)	3	1
	②訪問件数(再掲)	1	2
	③立入につなげた件数	0	0
	④やむを得ない措置での入所及び施設老人ホームでの入所に至った件数	0	0

○内容(虐待) (単位:件)

虐 待	身体的虐待	5
	経済的虐待	0
	心理的虐待	1
	性的虐待	0
	介護放棄	0
計		6

※複数可

3 ネットワーク構築(包括主催)

(単位:回)

①地域連携に係る会議	11
②多職種連携に係る会議	5
③ケアマネ支援に係る研修等	1
④担当者会議	59
⑤出前講座実施	12
⑥地域型介護予防教室	20
⑦訪問型介護予防事業	2
⑧オレンジカフェ運営	6
⑨その他	1
合 計	117

4 会議等への参加

(単位:回)

①介護保険サービス担当者会議	8
②地域関係者主催の会議	3
③地域密着型運営推進会議	4
④権利擁護に係る会議	4
⑤予防教室関係	0
⑥その他	0
合 計	19

5 広報活動等

(単位:回数・延人数)

①センターの広報	6	263
②権利擁護に係る広報	0	0
③交通安全アドバイス	7	268
④介護予防の普及	2	100
⑥その他	1	50
合 計	16	681

16. 平成27年度 あんしんセーフティネット事業 報告

1. 支援状況(マザーアースのみ)

支援対象	主な支援内容
①現在失業中で、生活保護の申請をしており、保護費を受給するまでの間、支援が必要な男性	光熱費、食料
②妻の医療費や家賃が高くて生活が困窮している高齢者夫婦	光熱費、食料
③ライフラインの電気が止められ困っている理容師一家	光熱費
④収入がほとんど無く、住宅ローンの返済やライフラインの支払いが滞っており、生活が困窮している母子世帯	光熱費、食料
⑤鬱により就労が難しいため、収入が無く家賃の支払いが滞納している母子世帯	家賃
⑥金銭管理が上手くできず、電気が止められて日常生活がままならない高齢者夫婦	光熱費、食料
⑦収入無く電気が止まってしまった夫が要介護状態の夫婦	光熱費
⑧生活保護を申請したが、保護費支給までの間の生活がままならない独居男性	家賃、光熱費
⑨生計中心者であった夫が働けなくなり、年金も無く生活が困窮している高齢者夫婦	光熱費、食料
⑩鬱のため、傷病手当をもらいながら生活している夫と鬱のため、就労に結びつかない妻が生活保護を申請するまでの支援	家賃、食料、賃下げ交渉
⑪家賃未払いで立ち退きを余儀なくされている3歳の子供を抱えた夫婦	家賃、食料、光熱費
⑫就労しているものの、給料支給日が翌月の20日過ぎの為交通費も無い独居男性	交通費、食料
⑬妻の手術後の経過が良くない為、就労できず生活がままならない親子3人世帯	食料
⑭派遣きりに合い、収入が無く家賃滞納で追い出されそうな3人親子	家賃、光熱費
⑮鬱のため、何とか生活してきたが、お金がない為病院にもいけない悪循環の単身女性	光熱費、食料
⑯入院費を支払う事で、日常生活が困窮してしまった単身高齢者	食料、日用品